

# だいきく通信 第二十九号 「秋の号」

いあつ

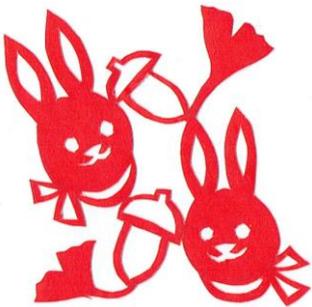
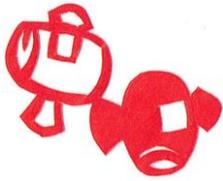
去る九月九日、太平洋上から日本に接近してきた台風十五号が千葉市に上陸して北へ進み、広い地域に大きな被害をもたらしました。直撃を受けた千葉県では大規模な停電が発生、首都圏でも交通網が大混乱に陥りました。

被害を受けた地域のみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。災害に対しては、日ごろからの備えを怠らないこと、情報をこまめに仕入れること、そして、決して無理をしないことが大切であると改めて思い知らされました。

社報「だいきく通信」第三十九号をお届けします。

今回の内容は、当社主催の催し物についてのご案内、神社に関する豆知識をお伝えする「お宮あれこれ」、オリジナル・キャラクターたちが活躍する連載まんがなどです。お楽しみいただければ幸いです。

大國神社 宮司 大島資生



## 大國神社の今

○第五回だいきくクラシックス 満席となりました。

来る九月二十九日に開催いたします、第五回「だいきくクラシックス 小林久美・小林明子 デュオ・リサイタル」は、ご好評につき満席となりました。ご了承ください。

昨年に引き続き、東京都交響楽団第二ヴァイオリン副首席奏者の小林久美さんと、同じく東京都交響楽団ヴィオラ奏者小林明子さんのお二人によるデュオ・リサイタルです。



○第九回だいきく落語会開催決定！

来年（令和二年）四月二十五日（土）に第九回「だいきく落語会」を開催するはこびとなりました。次回も古今亭菊乃丞師匠をお迎えしての独演会です。詳細は後日お知らせいたします。



## お宮あれこれ「神籬（ひもろぎ）」の「き」

建築にともなう地鎮祭などでは、その場所に祭壇を設けておまつりをします。その際、祭壇の中央には紙垂（しで）をつけた杵を立てます。これを「神籬（ひもろぎ）」と呼びます。今回は「神籬」についてお話ししましょう。

地鎮祭などで用いる神籬は、神様をお招きしておはらいの間ご滞在いただく場所という意味があります。これを「依り代（しろ）」と呼びます。ちなみに、おはらいの次第の中で、神様をこの依り代へとお招きすることを「降神（こうしん）」と言います。また、おはらいが終わったときには、もとの場所に

おかえりいただく「昇神（しょうしん）」という行事を行います。

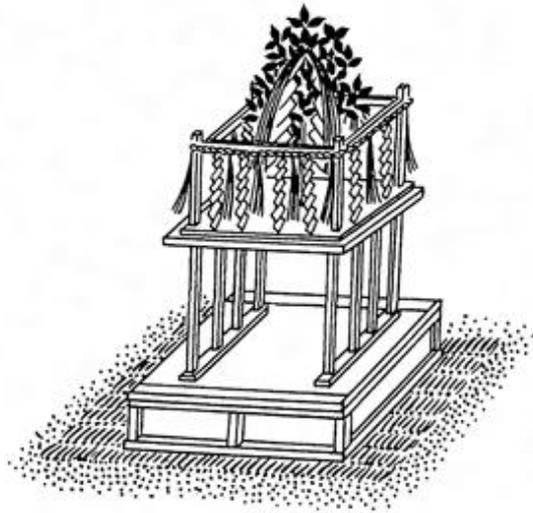
「ひもろぎ」ということばは、

古くは「ひもろぎ」と読んでいたそうです。語源には諸説あるようですが、おおまかには「ひ+もろ+き」のように分解できるようです。「ひ」は神や霊をあらわす古いことばで、「もろ」は「杜（もり）」あるいは「室（むろ）」などということばと関係があると言われています。最後の「き」は、未詳ですが、「木」ではないということがわかっています。これは、奈良時代に用いられていた「上代特殊仮名遣い」という表記方法にもとづいて考えたものです。「ひもろぎ」を『日本書紀』では万葉仮名によって「比莽呂岐」と記されています。「岐」という漢字で書かれる発音は「甲類」と呼ばれますが、「木」の発音は「乙類」で、「木」をあらわすときに「岐」という字を使うことはありませんでした。つまり、「木」と「岐」とは発音が異なっていたと考えられます。このようなことから「ひもろぎ」の「き」は「木」ではないと考えられているのです。神籬を設ける際、現代では木の杵を巡らせた中に杵を立てる神具を用います（3ペ



ージの図は『小学館 全文全訳古語辞典』より借用)。このように神籬が場所を区切ることから考えますと、「き」は「垣」と関係があるのかもしれない(なお、「垣(かき)」の「き」の発音は甲類で、「ひもろき」の「き」と同じです)。

「神籬」をはじめとして、神社で用いられることばの中には、とても古い時代に用いられていたものがほぼそのままの形で生き残っている場合があります。神道に触れることは、日本列島の長い歴史に触れることでもあると言えるでしょう。



ひもろき

### 祭礼・祈禱などの案内

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは次の電話番号もしくはメールにてお願いいたします。不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話しく下さい。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈禱を行なっております。祈禱日時については、

お電話にてご相談ください。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

電話

○三―三九一八―七九三〇

携帯

○八〇―一九八七―八七二六

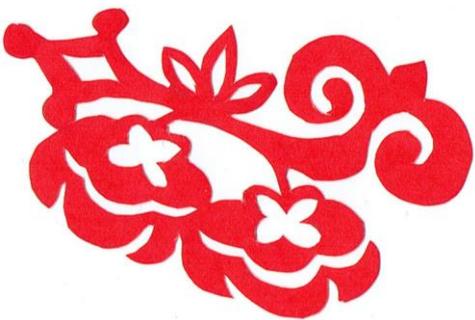
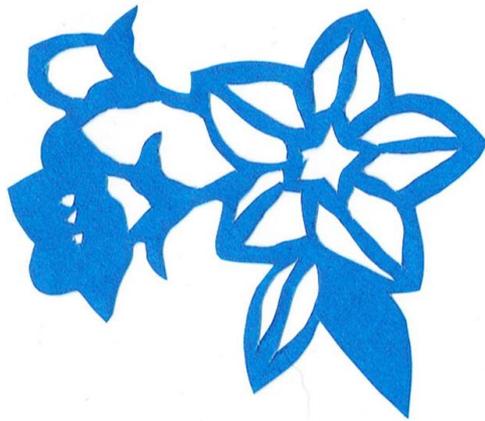
eメール

daikokujinja@gmail.com

○次回甲子祭

令和元年十一月二十三日(土・祝) 午前五時〜正午

○開運千人講祈禱祭 毎月一日 午前六時〜正午まで

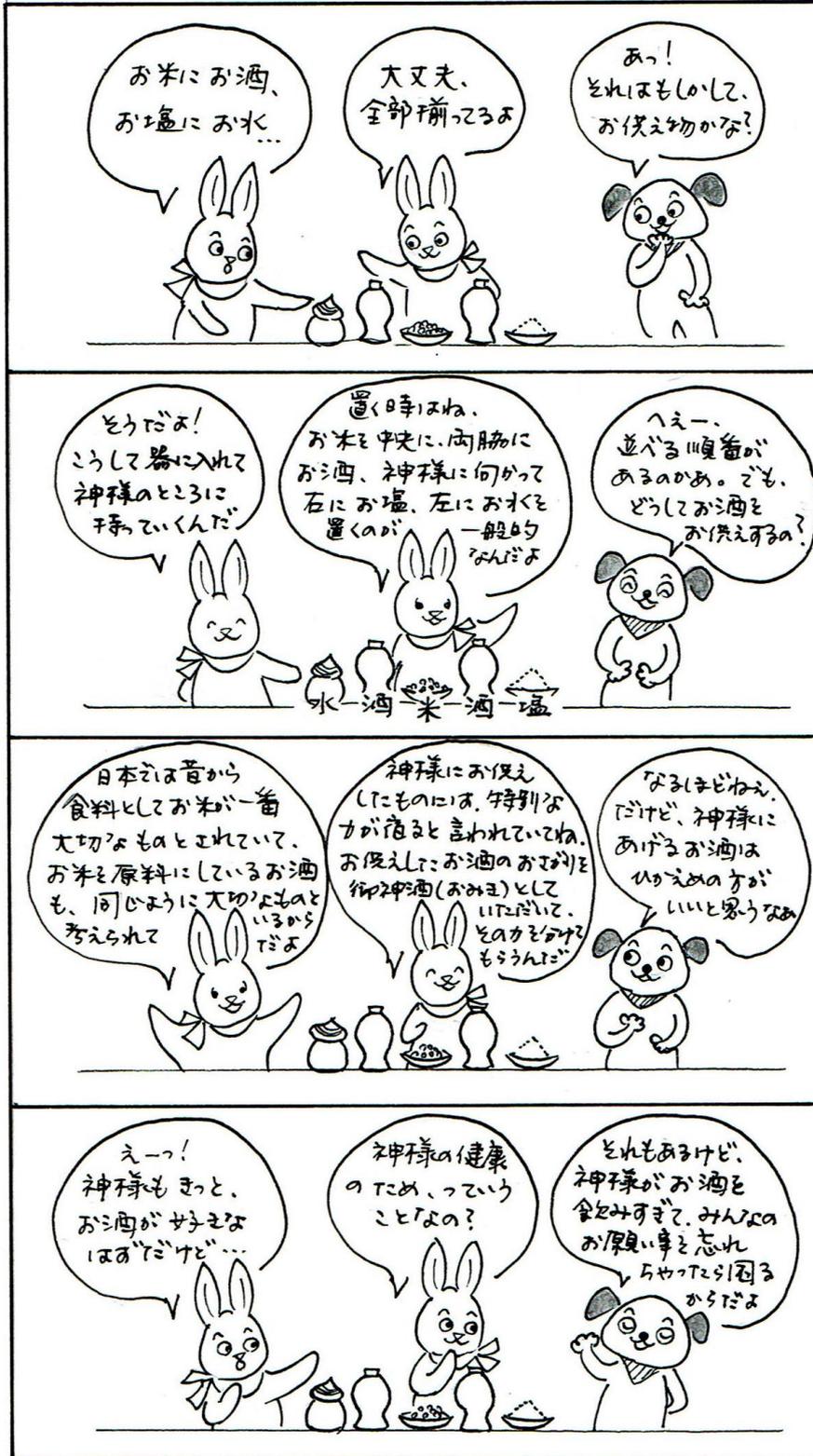


次号発行予定

「だいいこく通信第三十九号」、いかがでしたか。次号「冬の号」は、十一月二十三日の甲子祭に発行予定です。

(連載まんが)

# 大吉うさぎ ～神社豆知識 その7～ くまこまち 作



「だいいこく通信」第三十九号 令和元年九月二十四日発行  
編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇一〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二二一十一

<http://www.daikokujinja.org>